

第 162 期

中間期 株主通信

2025年4月1日 ▶ 2025年9月30日

「中期経営計画2027」の製品戦略の中核のひとつを成す真空遮断器。温室効果の高いSF₆ガスを使用しないため、環境規制の進む北米を中心に導入され、極寒の地であるアラスカの過酷な環境下でも安定した電力供給に貢献しています(写真上段)。この製品の製造・販売を担うMEIDEN AMERICA SWITCHGEAR, INC.の従業員は豊富な需要に応えるべくイキイキと活動しています(写真下段)。



当中間期の業績について

当社第162期中間期(2025年4月1日から2025年9月30日まで)の明電グループの経営環境としては、国内外の電力インフラや再生可能エネルギー分野への投資拡大を背景に、重電製品・システムの需要が堅調に推移しました。また、政府の成長投資や次世代エネルギー政策との親和性も高く、新規案件の増加が期待されます。一方、人手不足や工事進捗遅延、為替・関税の影響による一時的なリスクも存在しますが、国内インフラ投資やAI・DX需要によるマージン改善など、当社の強みを活かせる分野では好調な動きが見られます。そのような環境の中で、明電グループの連結業績は、売上高1,311億4千2百万円、営業利益は27億9千2百万円、経常利益は31億7千4百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は20億2千6百万円となりました。

明電グループは、今年度から開始した「中期経営計画2027」の基本方針に基づく各戦略を実行していきます。

株主のみなさまにおかれましては、何卒よろしくご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役
執行役員社長

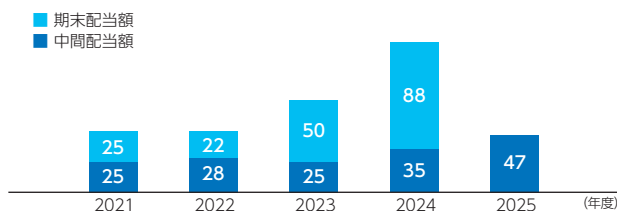
井上 晃夫



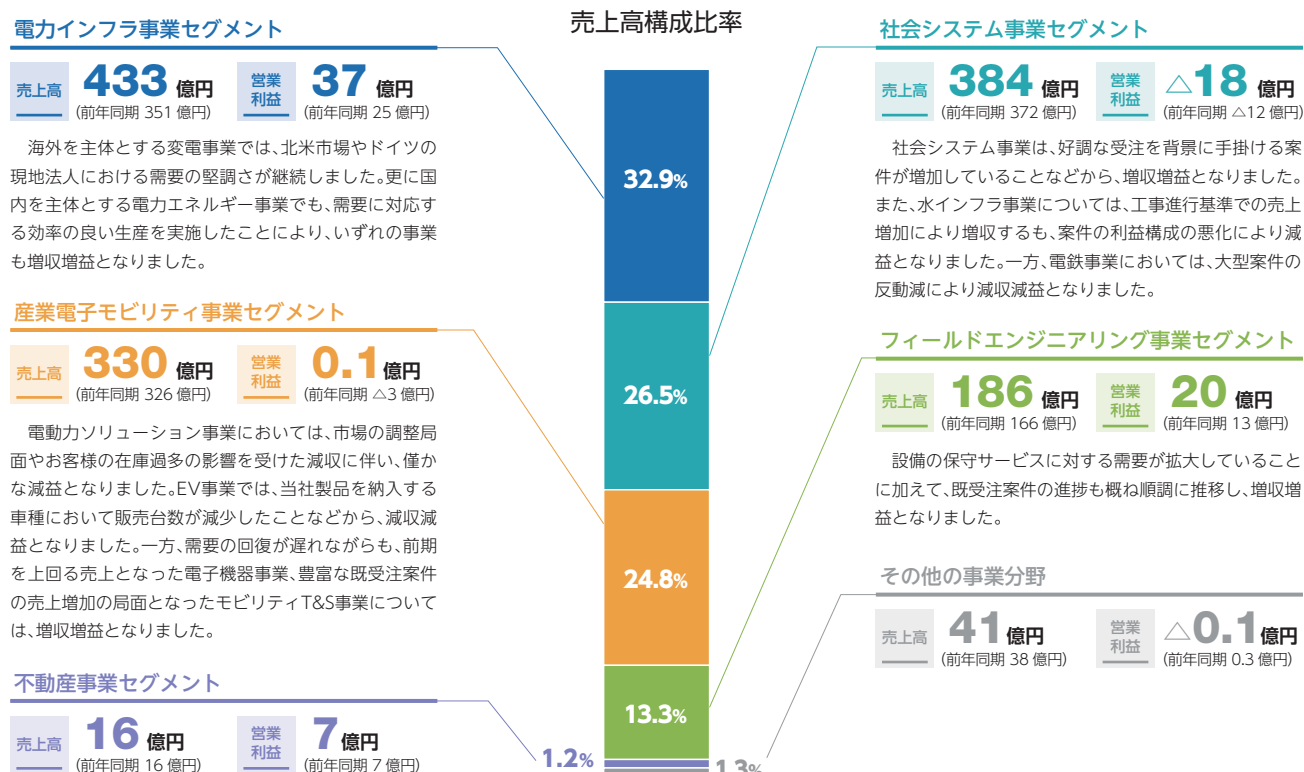
中間配当について

株主資本の充実と株主資本利益率の向上を図るとともに、業績に応じた適正な配当を実施するという基本方針に基づき、当期の中間配当は1株当たり47円とさせていただきます。なお、第162期期末配当は2025年11月28日現在では未定です。

1株当たりの配当金(円)



セグメント別営業活動の状況(2025年9月期)

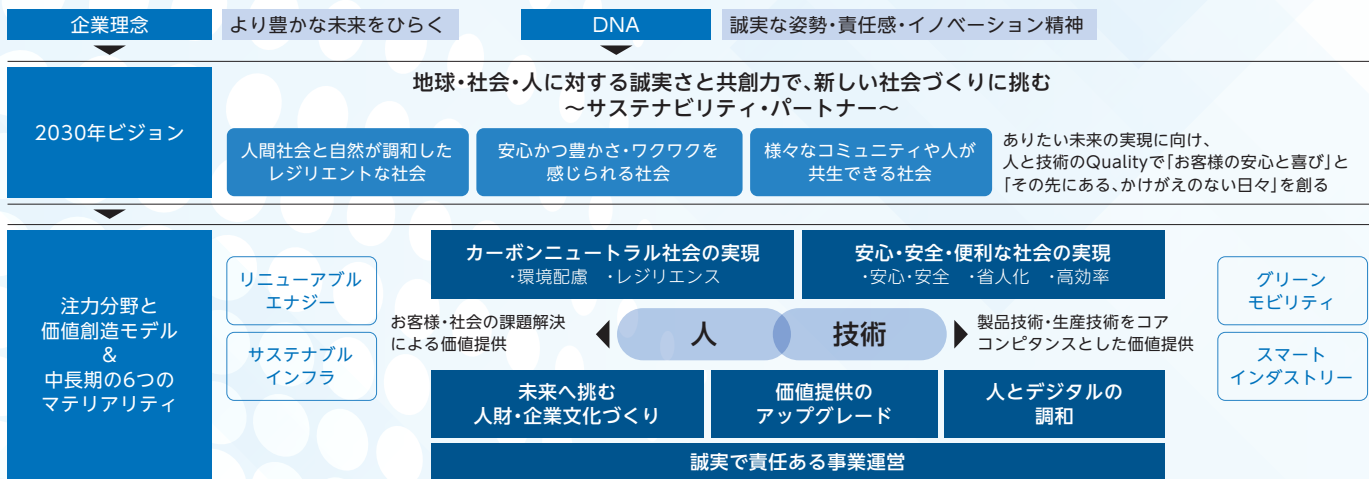


※売上高構成比率は外部顧客に対する売上高から算出しており、セグメント間の取引を含んでいません。

「中期経営計画2027」がスタートしました

2025年5月13日、「中期経営計画2027」を発表しました。前回の「中期経営計画2024」では、好調な受注環境を追い風に業績が拡大し、各施策が着実に進展した一方、生産能力増強や未来への取組みの加速といった課題が明らかとなりました。2030年に向けた大きな成長を実現するため、「ニーズに対応した着実な成長」と「未来に向けた変化・挑戦」の両立を目指し、無形・有形への更なる投資によりトップライン拡大を目指す重要な3年計画と位置づけています。

持続的でより豊かな社会の構築に向け、技術と人財で、新たな価値を創造し続ける



ビジョン達成に向けた『ニーズに対応した着実な成長+未来に向けた変化・挑戦』の3年

2028年度以降 既存事業の持続的成長と非連続的な成長の実現

中期経営計画2027 ~成長&挑戦~



成長戦略1 短期

製品

ものづくり強化・生産能力増強

成長戦略2 中期

事業

海外新市場進出・
ビジネスモデルの進化

成長戦略3 長期

技術

20年後の
社会を見据えた
研究開発

成長戦略を支える経営基盤 グリーン戦略の深化、人的資本の強化、社内DXの加速

経営環境・課題

市場
機会

・インフラ更新・半導体需要の増加
・環境対応・省力化・高度化
・拡大する海外市場
・商流変化・デジタル社会への対応

カーボンニュートラル社会の実現
安心・安全・便利な社会の実現
価値提供のアップグレード

経営
基盤

・グリーン戦略の深化
・時代に合った人財活用
・データドリブン経営
へのシフト

未来へ挑む人財・企業文化づくり
人とデジタルの調和
誠実で責任ある事業運営

中期経営計画2027

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/6508/tdnet/2611129/00.pdf>



製品・サービス

母島での再エネ100% 電力供給に向けた実証開始

当社は、東京都、小笠原村、東京電力パワーグリッド株式会社(以下、東京電力PG)の3者が連携して開始する小笠原村・母島での太陽光発電による再生可能エネルギー100%電力供給に向けた実証に、東京電力PGと共同開発した「仮想同期発電機機能付き蓄電池用インバータ」(VSG-PCS)を納入しました。VSG-PCSが商用電源系統で実運用されるのは国内初(当社調べ)です。

当社は、今後も環境負荷の低減や脱炭素社会の実現に貢献する製品・システムの供給を通じて、より豊かな社会の実現に努めていきます。



母島に設置された太陽光発電設備

イノベーション

進むイノベーション人財の育成

当社では、新しい価値を創出するイノベーション人財の育成に注力しています。

その取組みのひとつとして、新規事業の創出と従業員の挑戦意欲の醸成を目的に、アイデアコンテスト「MEIANチャレンジ」を開催しています。有志チームが、実現したい社会に向けたビジネスアイデアを経営層や従業員にプレゼンテーションするものです。2023年度に入賞したゲームアプリ「下水王国」はゲームを通じて下水の大切さを人々に伝えるという斬新な発想が多数のメディアに取り上げられ、事業化を目指しています。

当社は、変化を先取りし自ら創造する企業として、イノベーションと人財育成により持続的な成長を推進していきます。



「MEIANチャレンジ」報告会の様子

ウェブサイト、明電舎レポート2025のご紹介

設備の保守メンテナンスを手掛ける関係会社である株式会社明電エンジニアリングが創業60周年を迎え、同社のウェブサイト上でその記念動画を公開しました。堅調な保守サービス需要を確実に取り込み、2024年度に過去最高の業績を更新した同社では、人財確保の強化や、従業員が夢ややりがいを持ちイキイキと働ける職場づくりを目指しています。私たちが何気なく過ごしている「日常の当たり前」を支えている従業員の志や想いを動画で表現し、社内外に発信しています。

また、2025年9月に「明電舎レポート2025」(統合報告書)を発行しました。トップメッセージでは「中期経営計画2027」の達成と、明電グループを「豊かな社会に欠かせない存在」へと成長させることへの確固たる決意をお伝えしています。また、各ページにおいて、当社の戦略を充実した定量情報を基にわかりやすくご説明することに努めました。「価値創造事例」では、事業成長をけん引する真空遮断器や真空コンデンサ、保守サービスの取組みについて詳しくご紹介しています。

なお、明電グループのESG・サステナビリティに関する情報は、当社ウェブサイトの「明電グループのサステナビリティ」ページにて公開しています。

企業理念の実現に向けた当社グループの様々な取組みをぜひご覧ください。



明電舎レポート2025



明電エンジニアリング60周年記念サイト



明電舎レポート2025

<https://meidensha.disclosure.site/ja/themes/129>

サステナビリティ情報

<https://meidensha.disclosure.site/ja/>



明電エンジニアリング60周年記念サイト

<https://www.meidensha.co.jp/mec/60th/>



口座振替のご案内

配当金を銀行等の預金口座へ入金する手続きをさせていただきますと、配当金支払開始日に株主さまご指定の口座に振り込まれ、迅速かつ安全・確実に配当金をお受け取りいただくことができます。振込手続きをご希望の株主さまは、お取引されている証券会社へお申し出ください。なお、特別口座にて株式をお持ちの株主さまは、三井住友信託銀行 証券代行部(下記ご案内に記載の電話照会先)へお申し出ください。

会社概要 / 株式情報 / 株主メモ (2025年9月30日現在)

会社概要

商号	株式会社明電舎
英文社名	MEIDENSHA CORPORATION
本社所在地	東京都品川区大崎2-1-1 ThinkPark Tower 電話 (03) 6420-8100
創業	1897年(明治30年)12月22日
設立	1917年(大正6年)6月1日
従業員数	10,064名(連結)

株式情報

発行可能株式総数	115,200,000株
発行済株式の総数	45,527,540株
株主数	12,304名

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
定時株主総会	6月
公告方法	電子公告 https://www.meidensha.co.jp/ir/ir_08/
上場証券取引所	東京・名古屋
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵送物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間9:00~17:00(土日休日を除く)

